

委員回答まとめ

委員 (敬称略)	回答	議題(1)正副会長の選出について	議題(2)令和元年度事業実績及び令和2年度事業予定について	議題(3)次期プランの策定について				議題(4)パートナーシップ制度について				その他 全体をとおして、議題に限らずご意見がございましたらご記入ください。			
				資料5 Ⅰ計画策定の趣旨と背景について	資料5 Ⅱ計画の基本的な考え方について	資料6 体系図(案)について	その他「次期プラン」についてのご意見があればご記入ください	資料8<<検討課題Ⅰ:対象>>について	資料8<<検討課題Ⅱ:住所地の要件>>について	資料8<<検討課題Ⅲ:養子縁組の取扱い>>について	検討課題以外についてのご意見等がありましたらご記入ください。				
東 浩司	○ 今年度もよろしく願います。		今年度は感染対策の制約があり、無理をせず、柔軟に実施ください。											書面会議のご手配、ありがとうございました。	
飯島 薫	○														「重点目標5 セクシュアルマイノリティの立場の理解し、支援を進めること」や、総合的かつきめ細かい支援を目指しているが、藤沢市のホームページでは「主な相談案内」からセクシュアルマイノリティの方たちの相談案内につながらなかった。簡単につながるようにした方がよいと思う。 相談窓口の設置(民間団体と相談事業の提携など)あるいは相談窓口の情報掲示がとめられるのではないかと。
井澤 美幸	○ 初めての参加になります。よろしく願います。		特にないです。よろしく願います。												まだまだ勉強不足なので、いろいろな方のご意見を伺い勉強したいです。
井上 匡子	○														行政全体に関わる計画ですので、大変な苦勞があったこと、忍びます。今後とも、よろしくおねがいます。「ジェンダー・メインストリームの」の語は、やはり難しいでしょうか、これがあるのと、行政全体への目配りも、しやすくなるのではないかと感じます。
小野 隆弘	○		その他の男女共同参画推進事業令和2年度予定に「4. PCやスマートフォンを活用し、積極的に情報発信を行い啓発活動をする。」を付け加えたらと考えました。												新型コロナを機会に、選択の多様性が、ますます多くなってきたように思います。新しい生活様式の工夫の中で(テレワーク・オンライン会合・学習・仮想キャンパス、飲食等含む)いろいろなところにアンテナを張って多様性から生まれてきた、ひずみやあつれきなどの問題解決を柔軟に柔軟に対応できる、相談機関や支援機関との密な連携を構築していきたい。更良い点などを積極的にPRできる、広告媒体等を準備することも検討したい。
片岡 理智	○ 前期協議会でも、まとめ役として力を発揮してくださった木村会長、井上副会長のさらなる活躍をお願い申し上げます。		新型コロナのなかで、前年度並みの講座やイベントをしていくのが困難とは想像しますが、新たな方法を考えながら、事業を遂行していかたい。質問ですが、「啓発用DV相談窓口案内カード」が前年度にまたがっていますが、これは2年続けた事業ですか？												「4宣言者の要件」の(3)ですが、現在の「配偶者(事実上の婚姻関係にある者を含む。)」がいないこと(の)部分が、まるでこれら宣言しようとする2人が事実婚であったら除外されるかのように聞こえます。ここは単に重婚を避けたための記述と考えます。この文章内で「宣言しようとする相手以外の者」とを文頭にもってくだれば、事実婚、パートナーシップとにないことになると考えます。
木村 麻紀															現状に即した皆さまからのご意見を参考にさせていただきたいです。

